

京都市立仁和小学校
校長 青山 泰浩

アンケートのお礼

寒さもしだいにつのり、朝夕はめっきり冷気を覚える時節となってまいりました。平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、7月には学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。遅くなりましたが、学校アンケートの結果を報告させていただきます。皆様のご意見を大切にし、今後の仁和教育に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

<アンケートの見方>

- ・学校評価の観点を4つの分野（確かな学力・豊かな心・健やかな体・学校独自の取組）に分け、児童、保護者、教職員、学校運営協議会理事・企画推進委員を対象として調査しています。多少、表現の仕方に違いはあります、いずれもほぼ同じ内容の質問をしています。（1・2年生は、質問内容が実現度のみになっています。）尚、保護者アンケートについては、具体的な「評価の視点」を示すことで、基準を明確にし、より客観性を高めるよう取り組みました。
- ・「重要度」「実現度」を同時に尋ねる形式をとることで、「重要であるのに実現度が低い」（ニーズ度が高い）などの課題が分かりやすくなります。
- ・重要度・実現度の最高値は7、ニーズ度の最高値は49です。重要度6.4以上、実現度4.6未満を網掛けにし、ニーズ度25以上を重点課題と捉えています。

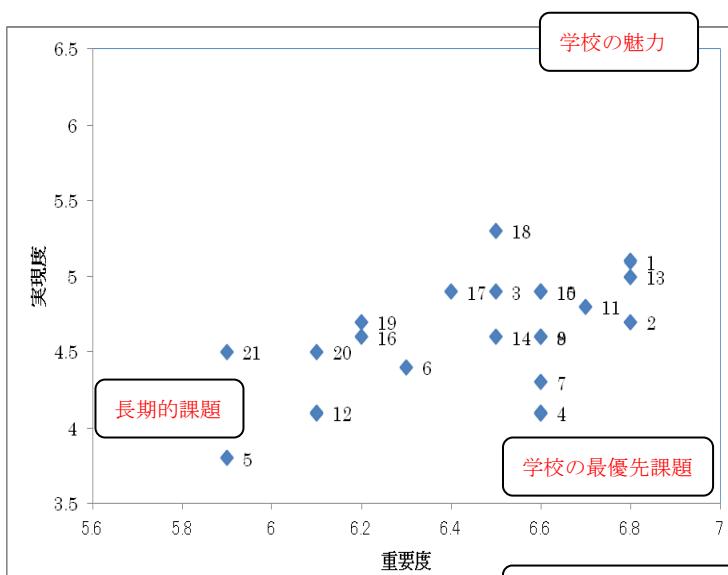
◆保護者集計表一覧

	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 子どもが意欲的に取り組める授業であること	6.8	5.1	19.7
	2 子どもが学習の基礎・基本の力を身につけていること	6.8	4.7	22.4
	3 教師が子どもたち一人一人にわかる授業をするよう心がけていること	6.5	4.9	20.2
	4 自分の思いや考えをわかりやすく書いたり話したりできること	6.6	4.1	25.7
	5 子どもに毎日本を読む習慣があること	5.9	3.8	24.8
	6 子どもがていねいに家庭学習に取り組んでいること	6.3	4.4	22.7
	7 子どもが途中であきらめず、学習に対して最後まで粘り強く取り組むこと	6.6	4.3	24.4
豊かな心	8 子どもがすすんであいさつすること	6.6	4.6	22.4
	9 学校が子ども一人一人を大切にした学校づくりをしていること	6.6	4.6	22.4
	10 きまりや約束事を守る指導を進めること	6.6	4.9	20.5
	11 子どもが人に対する思いやりの心をもつこと	6.7	4.8	21.4
	12 家族の中での仕事の役割があり、しっかり守っていること	6.1	4.1	23.8
	13 家族の中で子どものふれあいや対話の時間をもつこと	6.8	5.0	20.4
	14 子どもが毎日バランスよくしっかりと朝食をとること	6.5	4.6	22.1
健やかな体	15 子どもが早寝・早起きすること	6.6	4.9	20.5
	16 子どもが好き嫌いなく何でも食べること	6.2	4.6	21.1
	17 子どもが健康や体を大切にする指導を進めること	6.4	4.9	19.8
	18 学校がPTAや見守り隊の方々と力を合わせ、子どもたちの安全を見守っていること	6.5	5.3	17.6
	19 学校の教育方針や取組が、地域・保護者に伝わっていること	6.2	4.7	20.5
学校独自の取組	20 学校が家庭や地域と連携して活動すること	6.1	4.5	21.4
	21 学校・PTA・地域の行事が保護者として参加しやすい活動となっていること	5.9	4.5	20.7

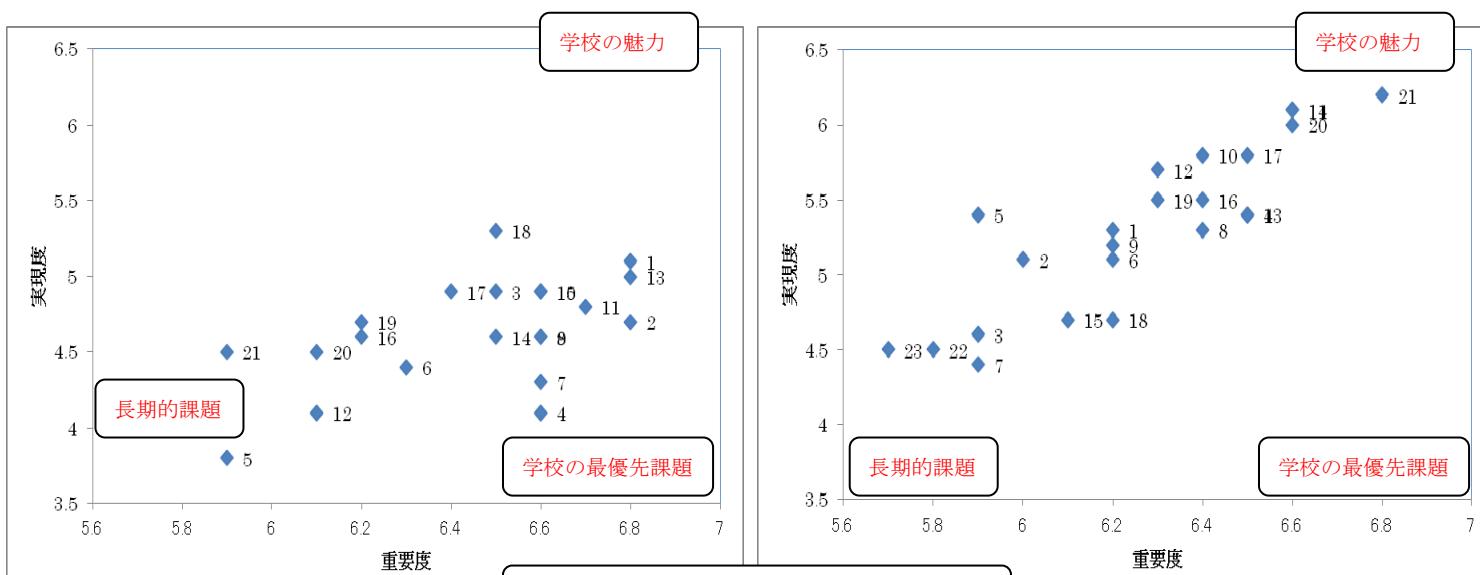
◆児童集計表一覧（3～6年）

	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 先生の話すことがよく分かること	6.2	5.3	16.7
	2 授業中に先生の言われたことがほとんどできること	6.0	5.1	17.4
	3 自分の思いや考えを発表しようとする	5.9	4.6	20.1
	4 先生や友達の話をしっかりと聞くこと	6.5	5.4	16.9
	5 進んで読書すること	5.9	5.4	15.3
	6 家の人に自分の思いを伝えること	6.2	5.1	18.0
	7 毎日、きまった時間、家庭で学習すること	5.9	4.4	21.2
	8 いろいろなことにめあてをもって努力すること	6.4	5.3	17.3
	9 いろいろなことにねばり強く努力すること	6.2	5.2	17.4
豊かな心	10 進んであいさつすること	6.4	5.8	14.1
	11 自分も友達も大切にすること	6.6	6.1	12.5
	12 学校生活を楽しく過ごすこと	6.3	5.7	14.5
	13 学校・学級の「きまり」や「やくそく」を守ること	6.5	5.4	16.9
健やかな体	14 友達となかよくすること	6.6	6.1	12.5
	15 家で、手伝いをすること	6.1	4.7	20.1
	16 係活動やそうじをまじめにすること	6.4	5.5	16.0
	17 毎日、バランスよくしっかりと朝食を食べること	6.5	5.8	14.3
の学校組独自	18 毎日、早寝・早起きすること	6.2	4.7	20.5
	19 好き嫌いなく、給食を食べること	6.3	5.5	15.8
	20 いつも健康に過ごせるよう、体を大切にすること	6.6	6.0	13.2
	21 安全（交通・防犯）に気をつけること	6.8	6.2	12.2
の学校組独自	22 地域のみなさんと交流すること	5.8	4.5	20.3
	23 地域やPTAの行事に参加すること	5.7	4.5	20.0

◆保護者散布図



◆児童散布図



★保護者・教職員・児童のアンケートから

児童のアンケートにおいて「学校生活を楽しく過ごすこと」「自分も友達も大切にすること」「友達となかよくすること」の項目で比較的高い実現度が見られました。これは、友達となかよく、楽しく学校生活を過ごしていると感じている児童が多いということであり、大変うれしいことです。また、保護者のアンケートにおいて、「子どもが意欲的に取り組める授業であること」の項目が全項目中で高い実現度であったことは、喜ばしいことであり、さらに質の高い授業を目指していきたいと考えています。

家庭学習については、保護者アンケートと児童アンケートに共通して低い実現度でした。質問の内容が少し異なりますが、保護者も児童も家庭学習については、まだだと考えていることがわかります。また、4月に行われた6年生の全国学力・学習状況調査においても「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して「している」と答えた割合が全国平均よりも低く、アンケートの結果と一致します。そして、家庭学習をしっかりしている方が学力調査の正答率が高い結果が出ています。仁和校でも家庭学習を大切だと考え、1年生から6年生まで系統立てて宿題を出すようにしています。また、自主学習にも取り組んでほしいと考えています。自主学習は、何をするか自分で考えて行う学習です。自分にとって必要な学習を考える力は、中学、高校に向けて重要になります。さらには生きる力につながります。学校では、仁和版「自学自習構想」を発行し、自ら工夫して学習に取り組めることを目指しています。同時に、自主学習の内容を紹介した「自学自習のすすめ」も参考にしていただければと思います。

「自分の思いや考えをわかりやすく書いたり話したりできること」についても保護者の実現度が低くなっています。児童も「自分の思いや考えを発表しようとすること」の実現度が低く、苦手意識をもっている様子がうかがわれます。学校では、様々な機会をとらえて自分の思いや考えを表現するための取組を行っています。また、記録・要約・説明等の言語活動を充実させることにより、思考力・判断力・表現力の育成を図っています。全校児童が、自分の考えや意見を発表したり、わかりやすく書いたり話したりすることが得意だと思うことができるよう引き続き、取組を進めていきたいと思います。

「早寝・早起き」「好き嫌いなく食べること」「家族の中での仕事の役割があり、しっかり守っていること」(お手伝い)の項目も実現度が低くなっています。規則正しい生活を送ることや栄養のバランスがとれた食事をとること、お手伝いをすることなどの生活習慣と学力も密接な関係があるといわれています。ご家庭で生活の様子を振り返っていただければと思います。

☆自由記述欄から（一部抜粋）

- ・入学して学校生活にも慣れ始め、毎日いろんな事を学びとても楽しいようです。
 - ・いつもお世話をしています。方針や取組に常日頃、感心させて頂いております。
 - ・毎日楽しく登校しています。いつもありがとうございます。
 - ・子ども自身が担任の先生をとても信頼しており、親として大変、安心して登校させられます。
- ・発表することに対して臆病になったり、正誤という二つの視点からだけの判断で、勇気がもてなかつたりするようです。失敗や時には間違うという経験から学ぶことがあるというアドバイスが家庭や学校でうまく出来ているといいなと思います。
- ・高学年になり、家庭学習を進めるように話していますが、なかなか自ら取り組むということをしません。工夫して自主勉強できるように練習していきたいです。
- ➡ 日頃から学校でも話しやすい雰囲気を作り、自分の考えを話したり、みんなで話し合ったりすることで考えが深まったり、広がったりすることについて話し、「声の共有」ができるように努めています。しかし、発表に対して抵抗を感じている児童がいるのも事実であり、継続して取り組んでいきたいと考えています。自主学習については、仁和版「自学自習構想」をもとに「自学自習のすすめ」を配布しました。学級でも友達のノートを紹介したり学習の仕方について話し合ったりして、工夫して自主勉強ができることを目指していきたいです。

- ・小学生くらいになると働き始める母親が多くなるため幼稚園の時よりも参観や行事に参加する保護者が少ないうように感じましたが、学校の取組などに保護者も関心をもち、参加や協力できる人はもっと関心をもって関わっていく必要があると思いました。
- ・小学校に入って保護者の交流や学校との交流が少なくなるため、学校での様子や友達の事を聞くのが子どもの話からしかなく、親子のコミュニケーションが幼児の時よりも重要になってくるなと感じています。
- ・成長していく中で、様々な問題が起こると思いますが、学校と家庭で共有し、きめ細かく対応していきたいと思います。

➡ 保護者と学校が連携して児童に接していくことはとても重要なことだと考えています。そのためにできる限り多くの情報を学校から発信していきたいと思います。また、直接会って話のできる懇談会も大切にしたいと思います。お忙しいとは思いますが、できる限り学校行事や授業参観・懇談会などに出席していただきますようお願いします。

- ・大変難しいことですが、放課後や学校外での行動についての指導やきまりごとの徹底などをしていただけると有難いです。

➡ 夕方遅くまで遊んでいる話や校区外や大型商業施設に児童だけで行っている話を聞くことがあります。学校では、機会のある度に「学校のきまり」をもとに指導していますが、他校ではトラブルになり危険な目にあつたりしたケースも報告されています。学校でも指導していきますのでご家庭でも話をしていただきますようお願いします。

- ・声かけ当番の時に特に気になりますが、あいさつが出来ない子どもがとても多く感じられます。進んで元気にあいさつの出来る子が増えるように学校、家庭共に指導していけたらと思います。

➡ あいさつについては、保護者アンケートの実現度も低く、自ら進んで元気よくあいさつをすることは、まだ課題があります。児童会を中心に月1回、あいさつ運動としてHello Smile運動を行っています。期間中は、しっかりあいさつをする児童が多いですが、日頃からしっかりできるよう学校でも指導していきたいと思います。

- ・学校、保護者役員の方、地域の皆様におまかせばかりで申し訳ありません。
- ・学校・PTA・地域の方々に見守っていただけて安全にすごせている事に感謝しています。
- ・いつも先生方や地域の方々には、大変、子どもたちがお世話になっております。これからもよろしくお願ひいたします。

☆学校運営協議会理事・企画推進委員の皆様より

- ・子どもをよくするには親がもっと規則正しい生活をしなくてはいけないと思います。私たちも努力しようと思います。
- ・子どもが関わることは保護者も関わってくれるが、保護者単体になると、なかなか関わってもらえないでの、つながりが感じられず、さみしいなあと思うことがあります。
- ・朝の集団登校に遅れる子が減ってきてることは喜ばしいことです。また、班長の「おはようございます。」は、ある町は元気よく朝のあいさつをしてくれています。ただ、班長が元気のないところは他の子どもも黙々としており、こういう時は心がけて大きな声で声かけをしようと思っています。
- ・子どもたちが登下校時に元気にあいさつができるようになったと思うが、学区の方たちにもあいさつができるようになればもう少し地域とのかかわりが深まるようにならないかと感じる。
- ・学校、PTA、地域とも自己満足にならないよう、気をつけて活動していきたいと思います。

*たくさんのご意見をいただきました。今後の仁和教育に生かしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。